

浪江町の被災状況と復興状況…②

農林漁業の再興

農業 17復興組合が活動中

野菜

- 町内で収穫した野菜が道の駅なみえなどで販売
- タマネギ「浜の輝(かがやき)」や「えごま」、「いちご」の栽培開始
- 令和3年4月からは長ネギの栽培も行われている

花木

- 平成26年から試験栽培を開始
- トルコギキョウやストック、カラーなどの花を栽培し、町内外に出荷

水稻

- 平成26年から試験栽培を開始
- 平成27年から販売開始(全量全袋検査で全て基準値以下)
- 令和3年9～10月、苅野地区・棚塩地区に米の乾燥や貯蔵などができる「ントリーエレベーター(乾燥調製貯蔵施設)」を整備
- 育苗施設を苅野地区に整備中(令和5年1月完成予定)



漁業 港湾設備、水産業共同利用施設などが完成

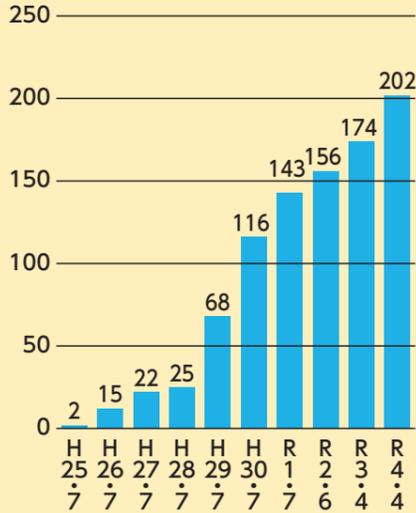
請戸漁港

- 平成29年に漁船が帰還
- 平成30年には海上の安全と豊漁を祈願する出初式が復活
- 令和2年4月に競りが再開し、首都圏を中心に「常磐もの」の流通が再開
- 現在、ヒラメ、カレイ、シラス、白魚、スズキ、メバルなどが水揚げされる

- 水産加工団地では、水揚げされた魚の加工事業も再開され、町内の店舗やイベント会場で販売が行われている
- 令和3年11月に請戸漁港竣工式が行われた

新たな産業と雇用の創出

町内での再開事業者数



町内に店舗・施設がオープン

- 令和元年7月 イオン浪江店オープン
- 令和3年3月 道の駅なみえグランドオープン
- 令和3年8月 いこいの村なみえグランドオープン

産業団地に立地した企業

浪江町北産業団地

- 株式会社バイオマスレジン福島

浪江町棚塩産業団地

- 福島水素エネルギー研究フィールド
- 福島高度集成材製造センター
- 福島ロボットテストフィールド

浪江町南産業団地

- 曾澤高圧コンクリート株式会社

浪江町藤橋産業団地

- フォーアールエナジー株式会社
- 静光産業株式会社
- 株式会社一路
- 富士コンピュータ株式会社

教育環境

震災時

町内6つの小学校と3つの中学校に約1,700人が在籍

震災後

浪江にじいるこども園に32人、なみえ創成小学校に27人、なみえ創成中学校に12人が在籍(令和4年4月現在)

避難先の全国約420の小中学校に約950人が在籍(令和4年3月現在)

生涯学習環境・福祉の充実 ふれあいセンターなみえ



ふれあい交流センター



余暇活動の交流拠点に図書館、会議室など

ふれあいグラウンド



外周はランニングコース

ふれあい福祉センター



要介護・要支援の認定を受けている人へのデイサービスや介護に関する相談ができます。

ふれあいげんきパーク



ボルダリングスペース



キッズスペース

社会基盤の維持・整備



幾世橋住宅団地

災害公営住宅

被災町民向け災害公営住宅として整備(全111戸)

幾世橋住宅団地、請戸住宅団地



幾世橋集合住宅

福島再生賃貸住宅

被災者・転入者向け公的賃貸住宅として整備

幾世橋集合住宅、津島住宅団地(仮称)